

# 隠里ため池南側広場（子供花壇）の 管理記録

高東 朗・梶川 修

## はじめに

平成 13 年度の隠里ため池（以下ため池）取得に伴いため池及び南側の広場約 600 m<sup>2</sup>は、当園の管理区域となった。大小 4 個の植栽を幅 1.5m の園路で区切る形で設けた。その後平成 14 年度からは、初夏にヒマワリ、秋にコスモス、冬から翌春にナノハナ又はアイスランドポピーと原則（的に）年 3 作の単一種類を植栽、展示してきた。平成 16 年度は、ヒマワリ、コスモス、パンジーを植栽、展示したのでその結果並びに途中経過を記録する。

## 1 ヒマワリ

平成 16 年 5 月初旬にアイスランドポピーを撤去した後、植栽区画 100 m<sup>2</sup>あたりにペレックス 12.5 kg、カルエース 5kg を混入、



写真 1. 子供花壇のヒマワリ

耕転した後、条間 50 cm 株間 50 cm に、2 粒/穴（全量約 5000 粒）直播にした（表 1）。6 月中旬には、補植用にポット育苗した苗を約 250 株植えつけた。

6 月中旬、ヨトウムシの食害が出始めたため、アディオン乳剤 1500 倍液、約 10l/m<sup>2</sup>の量を 1 回散布した。7 月中旬には、うどんこ病の被害があったためベンレート水和剤 1000 倍を約 10l/m<sup>2</sup>に 1 回散布した。その結果蔓延を防ぐことができた。また、生育期間中の除草作業には多くの労力が必要であった。7 月 31 日台風 10 号による風雨のため、高さ 150 cm 前後の株が倒伏したので、翌日支柱を立てて起こした。開花は 7 月 15 日頃から始まり 8 月上旬、満開になった（写真 1）。

表 1. 子供花壇に植え付けたヒマワリの品種と生育

品 種	播種日 月/日	条間× 株間 (cm)	開花 期間 月/日	草丈 (m)
F1 ソラヤ	5/18~20	50×50	7/15~ 8/13	1.3~1.8

## 2 コスモス

ヒマワリを除去した後、植栽区画 100 m<sup>2</sup>あたりにパーク堆肥 1000 kg、ペレックス 12 kg、カルエース 4 kg を混入耕転した後、シードテープ（20



写真 2. 子供花壇のコスモス

cm 間隔 2 粒）を直播にした（表 2）。今年は、8 月 19 日台風 15 号の影響のため、播種日が昨年より約 1 週間遅くなった。

9 月後半には、アブラムシの被害があったためアグロスリン水和剤 1000 倍液、約 10l/m<sup>2</sup>を散布した。その結果蔓延を防ぐことができた。10 月 12 日には、草丈 0.5~0.8m で開花が始まり、10 月 20 日台風 23 号による強風のため、高さ 1.2m 前後の株が倒伏したが、翌日株元を踏み固めながら起こし、同下旬にはほぼ満開状態になった（写真 2）。11 月 3 日の開園記念日には、見頃を迎えた。コスモスのお花摘みは、11 月 6、7 日に行い参加者は 580 人であった。

表 2. 子供花壇に植え付けたコスモスの品種と生育

品 種	播種日 月/日	条間× 株間 (cm)	開花期間 月/日	草丈 (m)
センサー シヨン	8/28~ 31	20×20	10/12~11/10	1.2

## 3 パンジー

春のアイスランドポピーが続いたので、本年度は、パンジーとした。植栽品種等は（表 3）のとおりである。播種が遅れたことと、翌春のゴールデンウィーク期間中に良好な状態を保つために、植え付けを（※パンジー 24 品種）平成 17 年 2 月上旬とし、それまでは最低室温 5℃ のガラス温室で育苗することとした。

## おわりに

今年度は、台風の影響のためヒマワリやコスモスの倒伏があったが、植物公園管理ボランティアの方々の協力のおかげで無事開花に到りました。また、パンジーのポット植えも多大な労力をいただきました。ここに深謝します。

## 参考文献

- 永木利夫 2002. ため池南側広場の整備について. 広島市植物公園栽培記録第 23 号: 6.  
 世羅徹哉・永木利夫 2003. ため池南側広場（子供花壇）の管理記録. 広島市植物公園栽培記録第 24 号: 28-29

表 3.パンジーの品種と生育

品 種	播種日 月/日	条間×株間 (cm)	ポット移植日 月/日	備考
LR アリル6 品種 LR オトノ6 品種 LR テラノ6 品種 LR プロント6 品種	9/13～15	25×25 (予定)	10/6～26	播種は育苗パ ットに1 品種 約 1000 粒を バラまきした

※これらパンジーの種子は、本園が平成 16 年度から実施している「おすすめのガーデニング品種展」の提供種子として(株)サカタのタネより種子提供を受けたものである。

## 平成 16 年カスケードコンテナ及び 周辺花壇装飾について

磯部 実・梶川 修・高東 朗

### はじめに

カスケード周辺には、現在大小 68 個の大型コンテナ(9 月からは台風による破損のため 64 個)と 30 箇所的小花壇及び 13 個の立体花壇(フラワーボール)、20～50 個の角型・丸型プランター、ハンギングバスケット等で季節の草花等を常時展示装飾している。

カスケード全体を一年中花で覆われるように装飾し、ガーデニングの話題提供となるように新品种の導入植栽をはかり、適宜植物名ラベル(白色 7×4cm T 型ラベルにブラザー P タッチテープを貼付)を付け、ラベンダーなどハーブ類は入園者が触って楽しめるよう「触ってみてください。香りがします」の表示をつけた。



写真 1. 貯水型木製プランター「みずいらず」

2 月には(財)都市緑化技術開発機構より貯水型木製プランター「みずいらず」3 基の寄贈を受け、ゲート前の屋根下に設置し春はパンジー、夏はデュランタやベゴニア、冬はハボタンなどを植えた(写真 1)。

### 植え付けた植物

コンテナや周辺花壇に植え付けた植物は表のとおりである。

経費節減のため花木や宿根草は昨年植栽し、開花後掘上げてバックヤードで栽培したものや、他の展示に利用したものを活用し、植栽した。また「おすすめガーデニング品種展」でエッチ・アイ・ジェイよりアグラータム、アングロニア、ニューギニア・インパチェンス、ヘリオトロップ、ペンタスの開花株苗の提供を受け、小花壇に植栽し、宣伝表示をした。

立体花壇は 11 月下旬～4 月下旬までは中輪パンジー、5 月上旬～12 月中旬まではベゴニア・センパフローレンスで装飾した。

階段には春から秋までタキイ種苗(株)よりペチュニア、(株)ミヨシよりピンカの開花株苗の提供を受け、それぞれ約 20 個のプランターで装飾した。

### 維持管理

維持管理状況は昨年とほぼ同様である。

病虫害は大きな被害は無かったが、夏にサルビアにバッタの食害があったのでオルトラン粒剤を施用し、ハイビスカスにアブラムシが発生したのでオルトラン粒剤などで防除した。

レンガブロックや階段敷石の隙間に雑草の繁茂がひどかったので手抜き除草のほか、草刈機による機械刈り(一部委託)と除草剤(ラウンドアッ